

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第18週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

## 方法等

### 対象期間

令和5年 第18週分 5月2日～5月8日公表分

### 症例定義

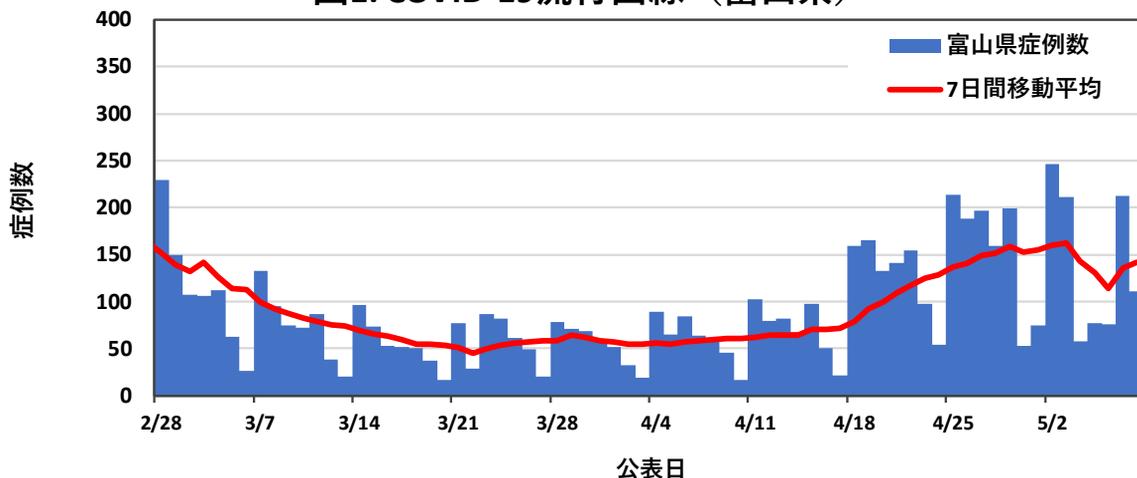
富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」において  
上記期間に富山県内で報告された症例  
→ 990例

### 情報源

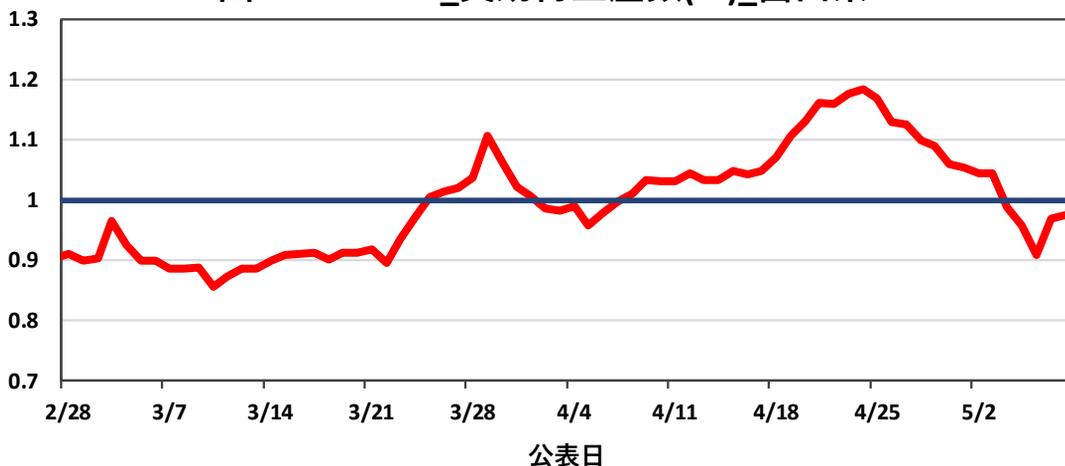
富山県公表資料「新型コロナウイルス感染症の発生状況について」より、次の情報をまとめた

- 流行曲線、実効再生産数（Rt）、年代分布、年代別報告数の推移 等

### 図1. COVID-19流行曲線（富山県）



### 図2. COVID-19\_実効再生産数(Rt)\_富山県



$Rt = (\text{直近7日間の新規感染者数} / \text{その前7日間の新規感染者数}) \wedge (\text{平均世代時間} / \text{報告間隔})$   
平均世代時間 = 2日、報告間隔 = 7日 で算出。

図3. COVID-19年代分布（富山県、18週）

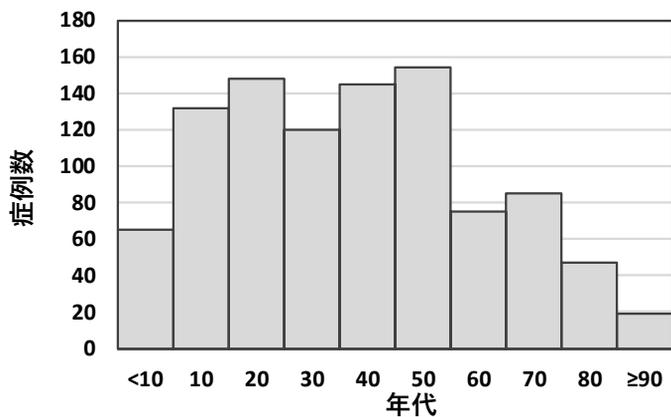


図4. COVID-19年代別割合（富山県、18週）

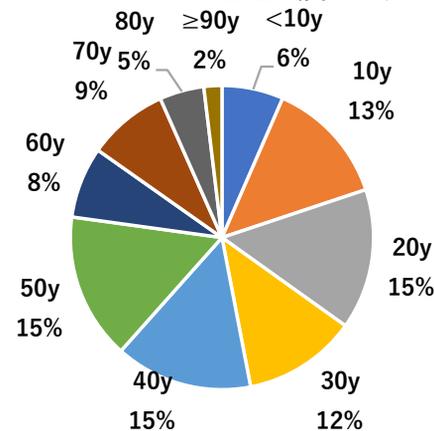


図5. 年代別報告数の推移（富山県）

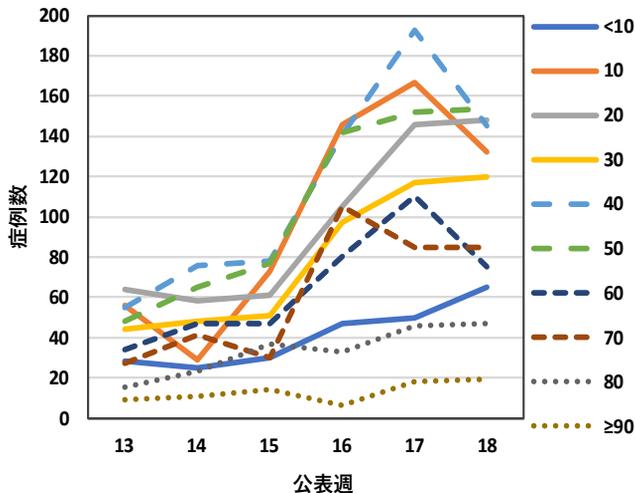
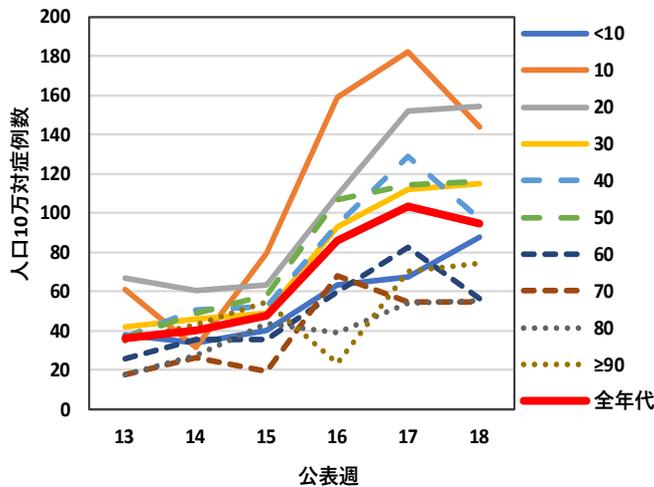


図6. 年代別報告数の推移（富山県、対人口10万）



## 5月8日時点での所見と評価

- 第18週の新規報告数は、990例。前週（1,084例）より減少した。  
大型連休に伴う医療機関の休診により、症例数を過小評価している可能性がある。
- 実効再生産数（図2）は、5/4以降1を下回り、5/8時点で0.97となった。
- 第18週に報告された症例の年代分布（図3：ヒストグラム、図4：円グラフ）を示す。  
50歳代、20歳代、40歳代が多く、それぞれ15%を占めた。  
60歳以上の割合は24%であった。
- 年代別報告数の推移を図5、年代別人口当たり報告数の推移を図6に示す。  
10歳未満では少ないながらも増加傾向が続いている。一方、他の年代では前週より減少又は横ばいであった。
- 全数把握から定点把握への切り替えに伴い、第19週以降は、定点報告数および患者推計値を用いて解析する。第19週は5/17（水）15時に公開予定。